

国際会議開催を成功へ導き 経済・社会貢献に寄与する



日本PCO協会 代表幹事
近浪 弘武氏

PCOとは、MICEビジネスの中でもとりわけ国際会議において、その誘致・企画・運営を総合的に実行する専門業者のこと。国内主要なPCOと関連企業及び推進機関から成る会員組織が日本PCO協会である。代表幹事の近浪弘武氏に、知られざるPCO業界の魅力について聞いた。

よりよい世界構築に尽力する リーダーの集いを陰で支えるPCO

PCO(プロフェッショナル・コングレス・オーガナイザー)は国際会議の開催にまつわるあらゆる役割を果たす専門家集団だ。その領域はプログラム、会場運営、社交行事、広報、展示、輸送、飲食、セキュリティ、財務、保険に至るまですべての業務を網羅し、数年から10年程度かけて準備する。近浪氏はPCOの特徴について話す。

「国際会議の内容は医療、科学、教育、政治、経済、外交と実に多岐にわたりますが、共通しているのは、よりよい社会を実現するためにどれも不可欠なものであること。私たちは人類と世の中の必然を支えているという責任感、そしてプライドを持って活動しています。さらに、ノーベル賞に輝く山中伸弥教授が参加

されて国際幹細胞学会が昨年横浜で開かれたように、世界のリーダーや各分野を代表する世界中の専門家と共に仕事をするという点も特徴的。常に世界の最先端の事象に触れられる刺激的な職業であり業界です」

東日本大震災は国際会議と商業的な展示会やイベントとの違いを鮮明にした。3.11以降、放射能汚染などへの不安から軒並み商業的な展示会やイベントが中止になる中、世界中の参加者から開催を応援する声が上がリ、国際血栓止血学会は同年7月に開催された。

「こんな時こそ国際会議で日本を応援しようという機運が高まりました。会議に集まったのは世界の血液学のトップ6000人。社会的に影響力の大きな彼らが自国に帰って日本の安心・安全を訴え、日本が危機を乗り越える起爆剤となりました。国際会議を開催する意義、そし

て可能性が証明された例と言えます」

昨年10月に東京で開催された国際通貨基金(IMF)・世界銀行総会では、参加者が日本の会議運営技術とホスピタリティーを世界一と評価した。しかしこのことは、国内であまり知られていない。

「国際会議の成功の鍵はきめ細かな配慮と対応、そしておもてなしの心。この点において日本のPCOは卓越していると自負しております。海外のPCO会社の社長は7割が女性であり、PCO業界全体でも過半数が女性です。これはきめ細かさやホスピタリティーと深く関わる職業だからでしょう。日本でもさらに多くの意欲的な女性に参画していただき、業界を盛り上げていきたいと考えています」

昨年、日本PCO協会は韓国そしてシンガポールのMICE団体と提携し、伸長するアジアMICE市場でグローバル展開する足固めを進めている。また、会員の技能・サービス向上を目的とした研修を継続中。日本の国際会議がさらに高品質となり、より大きな社会貢献をもたらすことを協会は目指している。



左から斎藤事務局長(日本コンベンションサービス)、荒川教育研修委員長(TSP太陽)、郷農副代表幹事(バイリンガル・グループ)、近浪代表幹事(日本コンベンションサービス)、宇佐美副代表幹事(セントラルコンベンションサービス)、瀬尾事務局長次長(日本コンベンションサービス)、石崎広報委員長(ピーシーオーワークス)

- 日本PCO協会幹事会社
- 株式会社シータイム
- 株式会社セントラルコンベンションサービス
- TSP太陽株式会社
- 日本コンベンションサービス株式会社
- 株式会社バイリンガル・グループ
- 株式会社ピーシーオーワークス
- 株式会社プロスパー・コーポレーション

お問い合わせ先

日本PCO協会 www.japco.org
TEL.03-3508-1218 FAX.03-3508-2017